

2023 年 11 月 22 日
西日本旅客鉄道株式会社
株式会社 HashPort

スタンプラリーの流行から半世紀・・・

大阪・関西万博に向けて「駅スタンプ」が進化します！

「EXPO2025 デジタルウォレット」との連携企画

『大阪環状線 NFT 駅スタンプラリー』の実施 ～Osaka Loop Line NFT Station Stamp Rally～

西日本旅客鉄道株式会社（大阪市北区、代表取締役社長：長谷川一明）は、公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会がサービス開始している「EXPO2025 デジタルウォレット」の事業連携サービスの一つとして、万博開幕 500 日前である 2023 年 11 月 30 日（木）より「大阪環状線 NFT 駅スタンプラリー」を実施します。同日は、大阪環状線・JR ゆめ咲線に大阪・関西万博ラッピング列車が運行開始する日でもあり、より一層万博機運を盛り上げていきます。

スタンプラリーの実施に向けては「EXPO 2025 デジタルウォレットアプリ」の提供を行う株式会社 HashPort（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：吉田世博、以下「HashPort」）と連携し、ブロックチェーン※¹ 技術を使用して発行された NFT※²・SBT※³を活用した、スタンプラリーの新たな顧客体験を提供するとともに、デジタルウォレットを通じて万博と利用者が「つながる」機運醸成に取り組みます。

※1 ブロックチェーン：情報を記録するデータベース技術の一種で、ブロックと呼ばれる単位でデータを管理、鎖（チェーン）のように連結してデータを保管する技術

※2 NFT（Non-Fungible Token：非代替性トークン）：偽装や改ざんが難しいブロックチェーン技術によって、従来容易に複製可能だったデジタルデータに対して、作成者や所有者、取引履歴などの情報をひも付けてデータの唯一性・固有性を証明できるデジタル技術

※3 SBT（Soul Bound Token）：ブロックチェーンを基盤にして作成された NFT（代替不可能なデジタルデータ）の一種で代替不可能なデジタルデータであり、他人に譲渡不可

1. スタンプラリー実施の背景

1970 年に開催された大阪万博では、各パビリオンにそれぞれ独自のスタンプが用意され、これをスタンプ帳に押して回る“スタンプ集め”が人気を博しました。そして、当時の日本国有鉄道が大阪万博閉幕直後の 1970 年 10 月より始めた「ディスカバー・ジャパン」キャンペーンでは、全国の主要駅に設置されたオリジナルスタンプをコレクションして楽しむ人が増えたと言われています。

JR 西日本グループでは、半世紀ぶりに大阪・関西で開催される万博に向けて、万博で提供される「EXPO 2025 デジタルウォレットアプリ」と連携し、駅スタンプの進化形として、新しい技術を活用した『NFT 駅スタンプ』に挑戦することとしました。これを契機にデジタル上で「NFT 駅スタンプ」をコレクションして楽しんでいただける、新しいスタンプラリー体験を提供します。

2. 実施期間

2023 年 11 月 30 日（木）～2024 年 3 月 24 日（日）

3. NFT 駅スタンプの設置箇所及び設置時期

NFT 駅スタンプの設置箇所は、スタンプラリーを開始する第 1 弾では計 5 か所に設置し、第 4 弾まで順次拡大します。大阪環状線全 19 駅及び 323 系万博ラッピング列車内の合計 20 か所に設置する予定です。

	設置箇所	開始時期 ※終了は 2024 年 3 月 24 日(日)
第 1 弾	計 5 か所 ○大阪駅、西九条駅、弁天町駅、天王寺駅 にある既設の駅スタンプ台※ ¹ に設置 ○323 系万博ラッピング列車内	2023 年 11 月 30 日(木)～
第 2 弾	大阪環状線の 6 駅	2023 年 12 月 22 日(金)～
第 3 弾	大阪環状線の 6 駅	2024 年 1 月 22 日(月)～
第 4 弾	大阪環状線の 3 駅	2024 年 2 月 12 日(月)～

※ 1 既設の駅スタンプ台の場所は「JR おでかけネット」の駅情報から構内図をご確認ください。

おでかけネット駅情報：<https://www.jr-odekake.net/railroad/eki/>

4. 参加方法

①アプリストアで「EXPO 2025 デジタルウォレットアプリ（Android/iOS）」をダウンロード

※アプリのダウンロードは、以下から可能です。

<AppStore URL>

<https://apps.apple.com/jp/app/id6450660947>

<GooglePlay URL>

<https://play.google.com/store/apps/details?id=io.hashport.hashwallet>

②アプリの Web 3 ウォレットにある「読み取り」機能を使って、スタンプ設置箇所にある専用 2 次元コードを読み取ることで、オリジナル NFT 駅スタンプを獲得

【EXPO 2025 デジタルウォレット 画面イメージ】



5. オリジナル NFT 駅スタンプのデザイン 別紙 1

オリジナル NFT 駅スタンプの製作には、関西にゆかりのあるイラストレーター・アーティストにデザインをお願いし、この企画だけのオリジナル駅スタンプに仕上げています。

6. コンプリート特典

設置された全 20 箇所のオリジナル NFT 駅スタンプを全て集めると、第 4 弾を開始する 2 月 12 日以降、自動的に「コンプリート NFT 駅スタンプ」を獲得（アプリ内で自動的に付与^{※1}）できます。

※1 コンプリート NFT の付与は、最後のオリジナル NFT 駅スタンプの獲得から、最大 1 日程度のタイムラグがある可能性があります。

7. その他

- ・大阪環状線 NFT 駅スタンプラリーの最新情報は以下の専用 HP をご参照ください。
URL : <https://www.jr-odekake.net/navi/nft-stamp rally/>
- ・「EXPO 2025 デジタルウォレットアプリ」に関するお問い合わせは、以下をご参照ください。
URL : <https://faq.expo2025-wallet.com/hc/ja>

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 9 番、11 番、17 番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



大原そう さん （大阪駅を担当）



大阪出身のイラストレーター。アクリル絵の具を使ってカラフルで元気な絵を描いている。絵を描く時は「ただ、ひたすらに楽しく！」をモットーにしており見た人を笑顔にさせる作品が特徴。

〔絵に込めた想い〕

6本の薔薇は「お互いを尊敬し合おう」という意味があり、赤の薔薇は「情熱」が込められています。大阪万博に掲げられた「Connecting Lives (いのちをつなぐ)」があるのですが一人一人が繋がるには片方ではなく お互いの尊敬や尊重があってこそだと思うので犬のトットに6本の薔薇の花束を持たせてみました。

SUYASUYARI さん （西九条駅を担当）



大阪府出身のイラストレーター。現在はグラフィックデザイナーとしても活動中。共通の表情を持つキャラクター達によるイラストを展開しており、リソグラフを用いた ZINE やポスターなどをベースに制作。

〔絵に込めた想い〕

「思いやり」という花言葉を持つチューリップを添え、西九条駅周辺の横丁前で待ち合わせをするシーンを描きました。少年が色とりどりのチューリップと共に、スタンプラリーを周ってくださる方々と待ち合わせるような見え方にもなれば良いなと思っています。本イベントが環状線のように人と人の輪をつなげるものとなれば幸いです。

てふてふ さん （弁天町駅を担当）



大阪府出身のイラストレーター。デジタル、アナログ、写真を使ったイラスト等、様々なものを日々描いています。普段は大阪近辺のイベントや展示会を中心に活動しております。キラキラもちもちしたものとお笑いがすぎです。

〔絵に込めた想い〕

弁天町という名前は七福神の弁財天様が由来ということで、着物やリボンのようにまとめられた髪をイラストに取り入れました。弁天町駅近くにある「安治川水門」は弁財天様がつけている特徴的な髪飾りをイメージして頭に建ててみました。

DA MAN さん （天王寺駅を担当）



大阪府出身のアーティスト。この社会には曖昧さを許容できる余裕が不足していると思います。怪異とすら楽しく共存できるような理想の自分の分身を日本の漫画と妖怪カルチャーを文脈に日々、描いています。

〔絵に込めた想い〕

環状線の根もとに付む天王寺は、日本最古の官寺がある歴史的な場所。一方で、国内随一の高さを誇るビルもそびえています。そんな街を行き交う人々には笑顔が満ちています。脈々と続く歴史と、絶え間ない挑戦が息づいており、今日もこの地には活気に満ち輝き続けています。